



1 学期の研究成果をまとめました!

◆創造科学科 2 期生 (1-8) の活動◆

6/20 創造基礎 B 前期中間発表会

本校同窓会館ゆ〜かり館において、創造基礎 B 前期中間発表会「〜輝ける未来創造都市」神戸の実現に向けて、高校生力を発揮しよう!〜」を行いました。ゲストとして、長田区役所まちづくり推進部まちづくり課 課長 田中丈之氏、同事業推進係長 岡善典氏、FM わいわいパーソナリティ 和田幹司氏をお招きし、質疑応答や講評等を行っていただきました。また、創造科学科 1 期生 (2 年) の太田淳平君と栗山拓海君も参加し、アドバイスをいたしました。以下は各班の発表テーマを含めたプログラムです。

1. 挨拶
2. 発表
 - 3 班 「神戸おさかな天国プロジェクト!!」
 - 7 班 「進化させよう: 鉄人化祭り」
 - 4 班 「Happy Life Happy 長田 for シニア」
 - 8 班 「heartful language in 長田」
 - 6 班 「創り出そう花と緑にあふれる長田」
 - 2 班 「観る・魅る・見つける!
長田神社前商店街 PR プロジェクト」
 - 1 班 「芸術と空き地でつながりを」
 - 5 班 「長田とお弁当に IRODORI を」
3. 講評



約 1 ヶ月半の間に行ったフィールドワークと調べ学習から、今後実施する実践活動について、どう取り組むのかといった内容を発表しました。質疑応答やゲストからの講評を受け、それぞれの班の課題を発見することができました。今後それらを踏まえ、よりよい研究を進めようと意気込んでいます。

6/6 創造基礎 A 講義「誰もが元気に働ける兵庫を」

本校同窓会館ゆ〜かり館において、「誰もが元気に働ける兵庫を」をテーマに兵庫県ビジョン課の中山優子氏にお話をして頂きました。生徒は兵庫県が目指す社会像やその実現に向けた 21 世紀兵庫長期ビジョンについて学ぶことができました。また兵庫県の雇用に関する施策で現状の問題点や改善案などを話し合うグループワークを行いました。最後に発表や質疑応答を通じて雇用問題について深く考える時間となりました。



《生徒の感想》

質問 1. もし、またビジョン出前講座を受けることがあれば、どんなテーマで受けたいですか。

兵庫の名産物や企業など具体的な特色が知りたい。また、各地をブロックに分けて盛んな産業を取りあげてほしい。

女性の働き方について詳しく話をききたいです。今日もかなり触れていただけたけれど、予算の使い方や具体的な活動について知りたいと思いました。

質問 2. 2040 年に兵庫県がどんな姿が望ましいと思いますか。もしくはどんな姿にしてみたいですか。そのために自分ができることなど、何でもいいので自由に書いてください。

外国人であっても障害のある人でもしっかりと
いきり“日本の良さ”“県の良さ”を知れる兵庫に
したい。

兵庫に住む老若男女がいきいきと働き、住んでい
てとても楽しい、誇れるような兵庫県。そのために
はまず行われているプロジェクトに興味を持って接
することが大事だと思う。

6/28 RRE「外国人留学生との交流会」

本校同窓会館ゆ〜かり館において、兵庫教育大学
に留学している外国人留学生10名と英語を用いて
交流会を行いました。お互いの自己紹介の後、高校
生は「日本の中学校の特徴とその課題」をテーマに
ポスターセッションを行い、留学生には「出身地域
の中学校のあり方について」をテーマにパワーポイ
ント等を用いてプレゼンテーションをしていただき
ました。



その後、お互いのプレゼンテーションを踏まえて、
日本の中学校の課題について、グループディスカッ
ションを行いました。最後に、フリートークと振り
返りを行いました。今回来ていただいた留学生の出
身国は、インドネシア、フィジー、マラウイ、イタ
リア、中国と様々でした。交流会が終わるころには、
留学生と打ち解けることができ、たいへん貴重な体
験をすることができました。



《生徒の感想》

Today, the member of group7 met Chin Bai. She
is from China, so we thought about China and the
educations in China. At first, we told her our
opinions. We explained the details which she didn't

understand. Then, she taught us something in
common in both China and Japan. For example,
Chinese are good at writing and listening English
and they are not good at speaking English like
Japanese. So, we talked about English education.
Both countries don't have a lot of chances to talk with
foreign people in English, so we should make
positive efforts to talk with foreigners like ALT.
Finally, we thought that we still have not enough
vocabularies to talk with foreigners, and to
understand what they want to tell quickly. Today's
work was a good opportunity to learn about our
English ability.

◆創造科学科1期生(2-8)の活動◆

6/7 創造応用IS「数学②」

本校HR教室において、創造科学科1期生(2年)
理系選択者対象に「統計的推測」に関する数学の授
業を行いました。統計的推測とは、集団の一部分か
ら得られた情報から集団全体の情報を推測するとい
う統計学の考え方で、高校の教科書にも掲載されて
います。受験で取り上げられることが少ないため、
授業で詳しく紹介されないことが多い分野ですが、
自らデータを収集して分析するような課題研究にお
いては欠かせない技術なので、創造応用の授業では
紹介しています。近年では文系理系を問わず、必要
な知識として入学後に必ず学ぶように指導する大学
も増えているようです。さて、今回の授業では集団
全体のデータをとることが難しい場合に、うまく選
んだ一部分のデータを用いて全体のデータを推定す
る例として、入荷した袋から100個を無作為に選ん
で重さの平均値を出し、その値から全体の重さの平
均値を推定する方法や、開票率が5%や10%の場
合の得票率から当選確実を推定できるかどうか、な
どを考察しました。生徒
たちにとっては足早で
やや難しい授業でした
が、数学の有用性の一端
を経験することができ
ました。



《生徒の感想》

文字式の使い方の意味を理解していないまま、間違っただけの値を代入してしまっただけ。文字の意味をしっかりと意味を確認することで、このようなことは防げるのではないかと思った。

6/14 創造応用 I S 講義「まちづくりに関する研究について・ベトナムの都市について」

本校同窓会館ゆ〜かり館において、創造科学科1期生（2年）理系選択者を対象に、大阪大学大学院工学研究科 環境・エネルギー工学専攻 教授 澤木昌典氏をお招きし、講義を行っていただきました。講義の前半は、澤木氏の研究室における研究についてお話をしていただき、都市環境デザイン学領域という分野がどのようなものなのか、そしてその分野においてどのようなことが課題とされているのかを知ることができました。



講義の後半では、ベトナムの都市についてお話していただき、ベトナムの主要都市、文化、環境について知ることができました。創造応用 I S の都市工学で行う予定の研究についても説明していただきました。また、対象生徒の半数が7月下旬のベトナム研修旅行に参加するため、現地へ行った際にどのような部分に着目するべきかを考えることができました。

《生徒の感想》

研究をしているのが、工学部であることに驚きました。「工学」は、物理とか化学にしか関係していないと思いこんでいたので“空間を作る工学部”もあるんだなと思いました。ベトナムについて知らない場所や、ベトナムのルール（信号など）とかを全然知らなかったので行くまでもっと自分で調べたりします。

6/21 創造応用 I S 「物理・生物」

本校化学教室および生物教室において、創造科学科1期生（2年）理系選択者を対象に、物理と生物の実験をそれぞれ行いました。この内容は生徒が履修している物理生物選択とは関係なく、対象生徒を二つのグループに分けて行いました。また、5月17日（SGH 通信第14号）の創造応用 I S の授業で受けなかった科目の実験を、今回の時間に行いました。内容は、物理・生物のどちらも5月17日のものと同じ趣旨であるため、今回は写真と感想を載せていきます。



《生徒の感想》

対照実験というものを小学生の時に学んだが、こういった研究になると対照実験の繰り返しによって自分で答えを出さなければならない。地道だがだんだんと答えの無い答えが出てくると「実験の面白さ」を感じられた。

眼球を水平に切り開いたとき、ガラス体が真っ黒だと思っていたが、実際、取り出すとやはり透明であり、黒いのは網膜であることが知ることが出来た。また強膜の強さには驚いた。水晶体は、実際は楕円よりも少し球体に近い形をしていることが分かった。

創造科学科1期生（2年）の理系選択者の校内における探究活動はすべて終わりました。2学期からは、数学・化学・物理・生物・都市工学分野のグループにわかれて、より専門的な課題研究を行っていく予定となっております。

6/28 創造応用 I L 「ポスター中間発表会」

本校選択教室において、創造科学科1期生（2年）文系選択者が、自身の取り組む課題研究について、ポスター発表（発表5分、質疑応答3分）を行いました。大阪大学大学院国際公共政策研究科教授の松繁寿和氏と同大学人間科学部院生の孫

雲之鵬氏をお招きし、発表を聞いていただき、質疑応答にも加わっていただきました。



生徒の発表テーマは以下の通りです。

～発表テーマ～

- 「イギリス、単一市場復帰への道！」
- 「拡散するテロ～憎しみの連鎖を断つには～」
- 「貧困の連鎖を食い止める教育」
- 「核兵器は本当に無くすべきか？～『核抑止』に着目して～」
- 「日本におけるシティズンシップ教育の在り方」
- 「日本とベトナムの女性のこれから」
- 「日本の女性議員を増やすためには？」
- 「日本人と外国人双方にとって住みやすいまちづくり」
- 「学校に求められるトイレとは」
- 「ベトナムの貧困と格差」
- 「食糧廃棄削減プロジェクト～廃棄食糧になる前に～」
- 「日本における理想的な介護」

グローバルリサーチ活動報告



◆グローバルリサーチⅠ(普通科1年)◆

SGH プログラムの一つであるグローバルリサーチⅠ(GRI)を受講する普通科(1～7組)の生徒33名が決定しました。



6月12日にガイダンスを行い、今後の授業の進め方やフィールドワークの参加の仕方、名刺交換の仕方、研究活動の心構えなどについて学習しました。

6/19「日本企業のベトナム進出」

本校同窓会館ゆ〜かり館において、グローバルリサーチⅠ受講者33名(1年)を対象に、「日本企業のベトナム進出」をテーマにABC株式会社の河原光伯氏に講義をしていただきました。講義ではベトナム

の基礎知識や経済状況、価値観などをデータやキーワードを用いてわかりやすく教えていただきました。



講義後、学んだことを基にグループに分かれて「ベトナムに進出した日系企業が抱える問題点とその解決方法」について話し合い、ポスター発表を行いました。生徒は発表後河原氏から講評を頂き、より広い視野で問題について考えることができました。授業後もしばらく質問に来る生徒が絶えず、実りある初回の授業となりました。

《生徒の感想》

特に印象に残っているお話は、ASEAN 諸国の人件費の推移についてのお話です。「2005年から2016年にかけて数値が増えた」と資料をただ読み取るだけではなく、なぜそうなったのかや他の数値との比較を行うといったような、1つの資料を様々な視点から見て考えていくことが必要になるとわかりました。人件費を高く設定して人を集めてから、何年後か仕事が安定してくると賃金が上がっていくのではなく、安定するようになったり、下がってきたりすることを知ってとても驚きました。また、今回はグローバルリサーチⅠで初めてグループワーク発表を行いました。今まで話したことのない子と同じ班になり、初めはぎこちなかったものの、どんどんとみんなで意見を出し合うことができました。次回からはもっと話し合いの時間を長くするために、もっと早くから話し始めたいと思います。

◆グローバルリサーチⅡ(普通科2年)◆

6/5 FW「神鋼環境ソリューション訪問」

「企業の海外戦略」をテーマに研究をしている10班の3名が、(株)神鋼環境を訪問し、ベトナムが抱える水に関する課題に対する企業としての取り組みについてお話をいただきました。日本の技術がベトナムで大いに活用できることやそ

のためには巨額の費用が必要なこと、ビジネスとしてはベトナム、カンボジア、ミャンマーが魅力的な市場であるなど研究を深めるための情報をたくさん得ることができました。今後、ベトナム研修に参加し、現地の状況を調査する予定です。

《生徒の感想》



日本の下水道では汚泥物を燃やして処理するけれど、ベトナムの下水道ではその設備がまだないため、埋め立てて処理するなど、日本との違いなどがよくわかりました。ベトナムは大雨や洪水が多いために、貯めているタンクがダメになってしまったり失敗に終わるなど、ベトナムの気候も関係していることもわかりました。私たちが事前に調べていた対策の、もみ殻を使う処理の仕方は家庭レベルで国全体として全く対策にならないことに驚きました。また、日本では当たり前の技術でもベトナムにとっては新技術であることもわかり、日本の技術を現地で伝えることで改善できる問題がたくさんあるのだなと思いました。

6/7 FW「高齢者就職支援の実態調査」

神戸市シルバー人材センター 西部センターにおいて、「少子高齢化」をテーマに研究をしている5班の生徒3名が、公益財団法人神戸市シルバー人材センターの事業課の吉村俊哉氏から、高齢者の就業支援についてお話をいただきました。

《生徒の感想》



神戸市シルバー人材センターでお話を聞いて多くのことを知り、新たな課題点を見つけることが出来ました。特に印象に残ったことは多くの高齢者の方が働くのを楽しいと感じていることや、高齢者に仕事を頼むことで大きなコスト削減になり、人材不足の解決にもつながるとのことや、センターの会員数は全国トップだが、高齢者全体に占める割合がとても小さいということです。今回聞いたお話を生かして班で良い研究活動ができるようにしっかりと話し合っていきたいです。

6/10 FW

「森から世界を変えるソーシャルビジネスアワード」

JICA 関西において行われた講演「森から世界を変えるソーシャルビジネスアワード」に、「ソーシャルビジネス」をテーマに研究をしている8班の生徒3名が参加し、ソーシャルビジネスについて学びました。大学准教授、企業、JICA 所長といった方々が参加者に様々な立場からソーシャルビジネスや国際協力についてお話をいただきました。終了後に取材も受けました。下記のリンク先の HP にその様子が掲載されています。

「国際協力 ソーシャルビジネスカンファレンス in 神戸」

REDD+プラットフォーム, (2017/06/13)

<http://www.reddplus-platform.jp/award2017/20170610/>



《生徒の感想》

まだ研究を始めたばかりで、ソーシャルビジネスが何なのかや、研究をどのように進めて行けば良いのかなどがしっかりとつかめていませんでした。今日のお話を聴いて、「森」をテーマにしたものでも、課題をいろんな視点から見ると、解決するためのソーシャルビジネスのありかたもたくさんあると分かりました。また、最後の交流会では「高校生だからできること」をいかしたらもっと良くなるのではというアドバイスをいただいたので、これからの研究で、その点も考えて行きたいと思います。

6/19「ポスター発表会」と講義「研究の深め方」

本校化学教室において、グローバルリサーチⅡ受講者（2年）40名が、それぞれの取り組む課題研究のポスター発表会（発表8分、質疑応答2～3分）を行いました。また、龍谷大学経済学部 講師の川元康一氏をお招きし、ポスター発表の様子を見ていただき、質疑応答にも加わっていただきました。



最後に、川元先生の研究「社会的地位選好の存在する世代重複モデルにおける、出生率促進政策の厚生効果について」を例に挙げて、研究の深め方の講義をしていただきました。

《生徒の感想》

内容は難しいように見えたが、わかりやすくかみくだかれていて、私でも理解できた。また、川元先生の研究ももちろんだが、私たちに対してのメッセージとして、結果は必ず自分の思う通りにいかない、逆に、自分の予想とは大きく異なった結果がでることが多く、それが研究のおもしろさであるのだと聞いて、とてもこれからの自分の研究に意欲がわいたし、研究のおもしろさがわかった気がします。



最後に3年間の集大成である論文を持ち、全員で記念写真を撮りました。



イギリス研修事前学習

7月16日～22日に実施するイギリス研修に参加する10名（創造科学科1期生およびGRⅡ受講生（2年））が、研修先で学ぶ内容について、事前学習を行いました。

6/1 事前学習①「顔合わせ」

本校同窓会館ゆ〜かり館において、イギリスに滞在している英国国際教育研究所の坂出義子氏とテレビ会議システムを用いた事前学習を行いました。今回は、顔合わせとして自己紹介を行いました。坂出さんには、現地のプログラムをサポートしていただく予定です。

6/8 事前学習②「イギリスでの生活について」

本校同窓会館ゆ〜かり館において、坂出先生と2回目のテレビ会議システムを用いた事前学習を行いました。今回はイギリスの概要説明と、生徒から「イギリスでの生活について」の質問に答えるかたちで講義を行いました。

《生徒の感想》

イギリスの文化や風習について、坂出先生に講義をしていただいた。前からイギリスでは階級によって多少アクセントや単語が変わるということは知っていたが、新聞までそれぞれ違うものが用意されているということに驚いた。また、食文化の面では紅茶が有名なのに加え、紅茶に添えるデザートがとても充実していることが分かった。調べると「Tea Cake」というものもあり、とても美味しそうだったので機会があれば是非食べてみたいと思う。来週の講義に向けて、しっかり勉強して知識を身に付けたい。

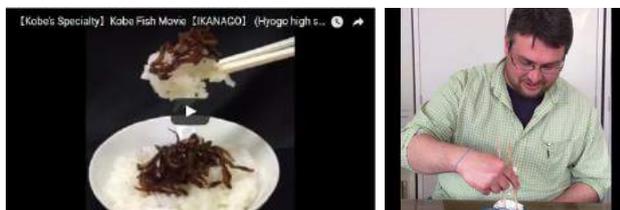


◆グローバルリサーチⅢ(普通クラス3年)◆

実践活動

『いかなごのくぎ煮』を世界に広める」動画完成

『いかなごのくぎ煮』を世界に広める」をテーマに研究しているグローバルリサーチⅢ受講者（3年）13班が、外国人に対して、いかなごのくぎ煮をPRする動画を作成しました。また、よりたくさんの人にPRするために、動画投稿サイトYouTubeに動画を投稿しました。動画タイトルは「【Kobe's Specialty】Kobe Fish Movie【IKANAGO】(Hyogo high school presents)」です。ぜひ検索してみてください。



6/5「グローバルリサーチをふいかえる」

本校コンピューター教室において、グローバルリサーチの最後の授業を行いました。生徒はこれまで行ってきた2年間の取り組みを振り返り、感想文を書きました。また、これからグローバルリサーチを受講する後輩たちに向けてメッセージを書きました。

6/15 事前学習③「イギリスの歴史・政治経済」

本校同窓会館ゆ〜かり館において、坂出先生と3回目のテレビ会議を行いました。今回は、「イギリスの歴史・政治経済」についてお話して頂きました。特に先週の英国総選挙の結果、EU 離脱問題、移民・難民問題について詳しく現地の受け止め方にふれながら講義をしていただきました。また、テレビ会議を行う前に、創造科学科1期生の生徒が、昨年授業「創造基礎B」で取り組んだ課題研究について、ふりかえりを兼ねた発表練習を行いました。研修に参加する生徒は、ヨーク大学において、それぞれの取り組んだ研究を英語で発表する予定となっています。

《生徒の感想》

政治について、つい最近総選挙があったこともあり、イギリス内の各政党について詳しく聞かせて頂きました。



EU 離脱や移民問題など他にもタイムリーな話題を実際に現地にいる方から聞くことができたのはとてもいい経験となりました。また僕は創造応用の研究でイギリスの経済についてをテーマにしようと思っているので今の経済事情について知ることができて良かったです。

6/21 事前学習④「イギリスの教育について」

本校同窓会館ゆ〜かり館において、坂出先生と4回目のテレビ会議を行いました。今回は、「イギリスの教育について」についてお話して頂きました。また、テレビ会議を行う前に、グローバルリサーチII受講生徒がヨーク大学にて発表する本校の学校紹介について、英語による発表練習を行いました。

《生徒の感想》

今回はイギリスの教育について英国国際教育研究所の坂出義子先生より講義を受けました。今回の講義を通して、イギリスで行われている教育法や



どのような力が育成されているのかということについて知ることができました。また、これから学ぶことになるシティズンシップ教育のためにも知識を蓄えることができてよかったです。

6/23 事前学習⑤「イギリスの教育について」

本校会議室において、京都教育大学教育学部 教授の水山光春氏に講義をしていただきました。今回は、「英国のシティズンシップ教育」についてお話して頂きました。イギリス研修で訪問するヨーク大のデービス先生の専門であるシティズンシップ教育について、その教育目標や英国で必要性が唱えられた背景、英国での取り組み例、現状と課題について講義をしていただきました。講義後、ヨーク大で発表する創造科学科生徒のリハーサルにて水山先生からアドバイスをいただきました。

《生徒の感想》

京都教育大学の水山教授に、イギリスのシティズンシップ教育について話を伺った。私は創造応用 II の研究でシティズンシップ教育をテーマにしている。そのため、知っていたこともあったのだが、やはりネットで調べるのと実際に専門の方の話を聞くのとは理解度が全く違うと感じた。水山教授の話では、一つ一つの単語をよりわかりやすく説明していただいたため、理解し、納得することが出来た。これから講義などが近くであれば積極的に参加し、目だけではなく耳での情報収集も大切にしたい。また、シティズンシップ教育というのは、日本よりイギリスの方が素晴らしいことをしていると思っていた。確かに、イギリスでは必修科目でもあったため広まってはいるのだが、兵庫高校を始めとする日本の学校の方がカリキュラム自体は先進的であるようだ。研究するにあたって、自分が今置かれている創造科学科という環境が一番の先事例であることを忘れずに、また自分の経験を大いに活かし、研究を進めていきたいと思った。

